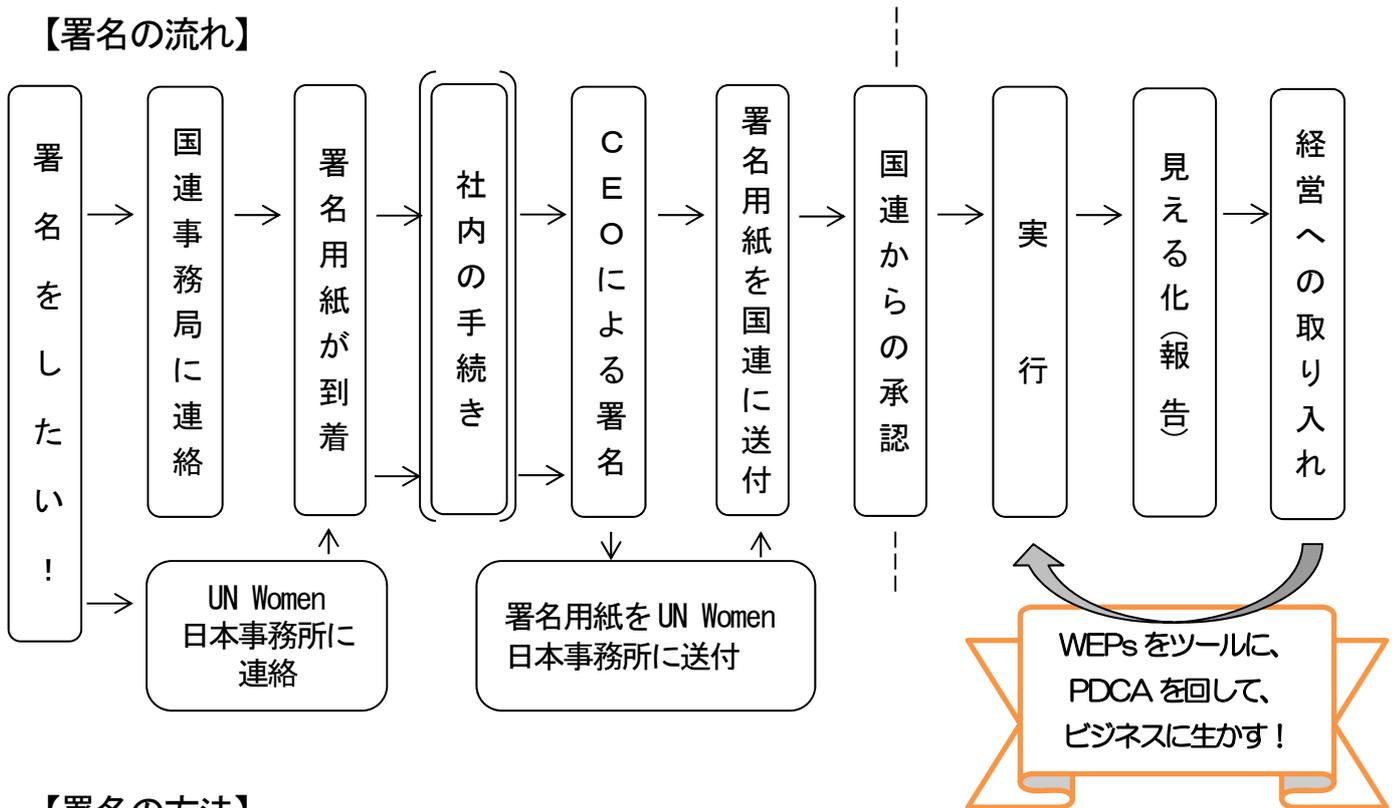


～ WEPsの署名から実行まで ～

【署名の流れ】



【署名の方法】

1) 署名用紙を取り寄せる

UN Women 日本事務所のウェブサイトからダウンロードする。署名用紙は日本語併記。
(http://japan.unwomen.org/?attachment_id=257)。

2) 署名用紙に必要事項を記入し、CEOが署名する

企業名等は英語でも書く。なお、2ページの後半はアンケートなので、回答は任意。

3) 2)を書き終わったら、スキャンして、UN Women 日本事務所にメールに添付して送る

メールアドレス (メールは日本語でOK) : japan.office@unwomen.org

4) UN Women 日本事務所が、署名用紙を国連 WEPs 事務局に転送する

5) 国連 WEPs 事務局により、署名が承認される

国連 WEPs 事務局ウェブサイトの「署名企業リスト」に掲載される

6) 取り組む

7) その状況を WEPs によって「見える化」する

8) 「見える化」した結果を公表し、次のアクションにつなげる

CSR 報告書に掲載したり、チーム作成のチェックシートに記入したりする

◎ これまでの署名企業の例

1 署名のきっかけ

- UNIFEM（現 UN Women）日本国内委員会からの情報提供があった。（A 社）
- UN Women 日本事務所顧問が支社に来て、WEPs の話をした。理念として反対することはないので、署名した。（B 社）
- 支店を通じて署名を勧められた。取り組むのはよいことなので、署名をした。（C 社）

2 署名の手続き

- トップの一声で、署名をした。（A 社）
- 署名の際に任意として寄付（1 口 200 万円）の話があったが、お断りした。（B 社）
- 署名手続き後、ニューヨークから受付済メール（定型のもの）が届いた。（B 社）

3 署名後

- 署名後は、WEPs 事務局から、毎年 3 月に開催される WEPs 会合の参加案内が来たり、企業の取組例へのインタビュー要請等がある。（A 社）
- WEPs 事務局から英文のメールが数か月に 1 回届くが、対応していない。（B 社）
- UN Women 日本事務所からは、署名後は国連のウェブサイトにも社名が掲載されるのみであり、やるべき義務はないと聞いた。（C 社）

4 報告

- 報告については、企業に新たな負担感を感じさせないものがよい。（A 社）
- 報告の内容として、CSR 報告書以上のものを求められても困るだろう。（B 社）

5 その他

- WEPs を広める活動がもっとあれば、と思っている。（B 社）
- WEPs についての社内の担当部局がわからない。答えられない。（D 社）

◎ 最近署名した企業の経験談

- 署名用紙は、日本語で書けるし、英語の部分は固有名詞のみなので、問題なくできた。
- WEPs というモノサシで「見える化」したことで、これまで自覚できなかった、女性のエンパワーメントに関する自社の取組の先進性を発見できた。
- 女性のエンパワーメントという視点からサプライチェーンを意識するようになり、持続可能な社会の実現に向けて、より良い企業へ成長するきっかけとなった。
- 自社のよりよいサービス・商品を提供するには女性の活躍促進が不可欠であるため、進んでいると自負をもっていたが、WEPs で「見える化」してみると、新たな課題がわかった。